

(案)  
第9回さいたま市総合振興計画推進本部会議 次第

日 時 令和2年5月26日(火)  
(書面による開催)

1 開 会

2 議 題

次期総合振興計画(素案)について

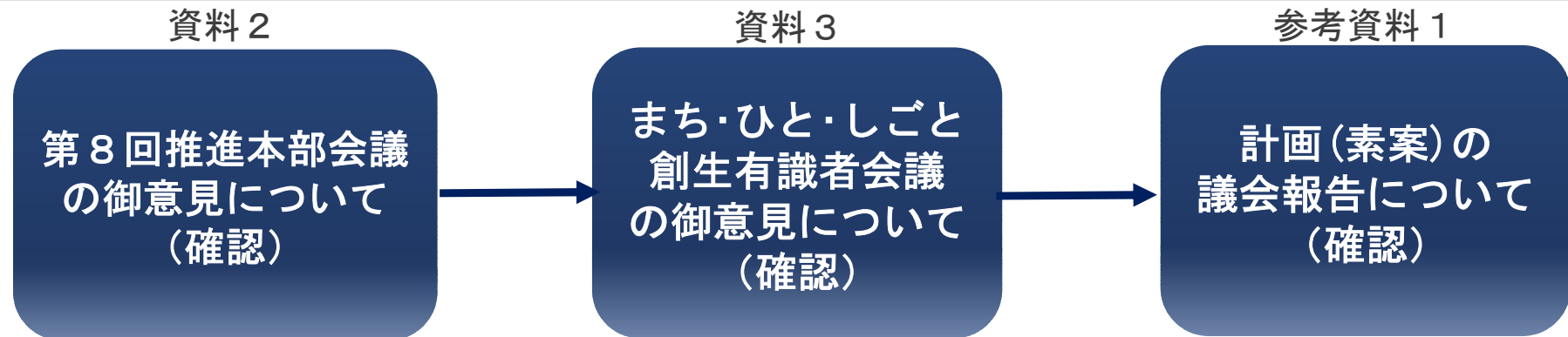
- ① 第8回総合振興計画推進本部会議における意見への対応について
- ② さいたま市まち・ひと・しごと創生有識者会議における意見への対応について
- ③ 次期総合振興計画(素案)に対するパブリック・コメントの実施について

3 閉 会

## 【配付資料】

- ・ 資料 1 本日の目的
- ・ 資料 2 第 8 回総合振興計画推進本部会議における意見と対応
- ・ 資料 3 さいたま市まち・ひと・しごと創生有識者会議における意見と対応
- ・ 参考資料 1 さいたま市次期総合振興計画（素案）
- ・ 参考資料 2 【6 月定例会】市の基本的計画の在り方検討特別委員会報告資料
  - 参考資料 2－1 「さいたま市次期総合振興計画の在り方に関する決議」への対応について
  - 参考資料 2－2 さいたま市次期総合振興計画（素案）※参考資料 1 と同一のため省略
  - 参考資料 2－3 さいたま市次期総合振興計画（素案）のパブリック・コメントの実施について
- ・ 参考資料 3 【6 月定例会】大都市行財政将来ビジョン特別委員会報告資料
  - ・ 第 2 期「さいたま市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定について

## 本日の目的



- 5月13日（水）付けで書面にて開催させていただいた「第8回総合振興計画推進本部会議」におきましては、御多用のところ大変多くの御意見・御指摘をいただき、誠にありがとうございました。
- いただいた御意見に対する回答につきましては資料2「第8回総合振興計画推進本部会議における意見と対応」のとおりです。
- 本日は、こちらの御意見に対する対応が適切に反映されているかを御確認いただき、6月定例会において、本計画（素案）及びパブリック・コメント実施を報告してよろしいかについてお諮りするものです。
- あわせて、今般開催しました、「まち・ひと・しごと創生有識者会議」において有識者から出された意見についても、本日「さいたま市まち・ひと・しごと創生有識者会議における意見と対応」（資料3）として配布しておりますので、御確認ください。
- 6月定例会での報告の詳細等につきましては、確定次第、改めてお知らせします。

## 第 8 回総合振興計画推進本部会議における意見と対応

項番	頁	具体的な箇所	意見	対応（案）
1	3	1 黎明期	岩槻合併までを黎明期とすべき	御指摘のとおり、構成を修正しました。  黎明期：H13～H17（岩槻合併まで） 成長期：H18～H25（岩槻合併後、前期基本計画期間） 発展期：H26～R2（後期基本計画期間）
2	6	2 成長期	リーマンショック及び行財政改革に関する記述を追加	御指摘のとおり、以下の文章を追加しました。  ・平成20（2008）年9月に発生したリーマン・ショックなどに起因する景気後退局面に入りました。 ・それまでの「行財政改革推進プラン」に基づく取組や実績を踏まえつつ、本市の改革の進むべき新たな道標となる「行財政改革推進プラン2010」を策定し、継続的な改善に取り組みました。
3	69	(2) さいたま市の状況と対応の方向性	新型コロナウイルス感染症の流行に伴う社会経済状況の変化について、盛り込んでいくべきではないか。	御指摘を踏まえて、新型コロナウイルス感染症関連の記述について改めて検討し、主に以下の箇所に関連の内容を追加しました。  P11：さいたま市の歩み P29：財政状況（社会経済状況） P67：グローバル経済の変貌（時代潮流） P69：グローバル経済の変貌（さいたま市の状況と対応） P158：新たな産業の創出と地域産業の振興（現状と課題） P228：ICTやデータを活用した新しい時代の行政運営（現状と課題）

第8回総合振興計画推進本部会議における意見と対応

項番	頁	具体的な箇所	意見	対応(案)
4	32	3 将来都市構造の実現に向けて	<p>2段落目 『「そだてる」(維持管理・運営を行い、魅力・価値を向上させる)取組…』について、「維持管理・運営を行い、」は不要と考えるため削除。</p> <p>3段落目 『拠点となる市街地間をネットワークで接続することなどにより、市民生活に必要な機能を公共交通機関や自転車、徒歩による移動で享受できる生活環境を創出…』について、「市街地間をネットワークで接続することなど」と「自転車、徒歩による移動で享受できる」のつながり(手段と目的)が分かりづらいため、文章を整理。</p> <p>地域の特性を生かした～～市街地の拡大を抑制し<u>つつ</u>、河川や緑地等の豊かな自然環境の保全・活用に取り組むこと～～既存のストックを生かし「そだてる」(維持管理・運営を行い、魅力・価値を向上させる)取組を推進していきます。 また、拠点となる市街地間をネットワークで接続するとともに、市民生活に必要な機能を公共交通機関や～～生活環境を創出して<u>いきます。さらに、</u>東日本地域の各都市等との広域的な～～</p>	御指摘のとおり内容を修正しました。
5	35	③副都心	<p>《日進・宮原地区》 ・地区の現状・特性・地域資源等について、土地区画整理事業が進んだことを記載。 ・「盆栽美術館」や「漫画会館」は、「大宮盆栽村」のエリア内にあるため、文章を整理。 ・「鴨川」は、この付近に憩う場所がないため、「逆川緑道」に置き換え。 ・「見沼田圃に近接」とは言い難い(イメージしづらい)のではないかと。</p>	御指摘を踏まえて、内容を修正しました。

## 第8回総合振興計画推進本部会議における意見と対応

項番	頁	具体的な箇所	意 見	対 応 (案)
6	55	⑤今後の方向性	<p>市民アンケート結果、成果指標及び市民意見を踏まえた今後の方向性として具体性のある記載とするため、2行目以降を以下のとおり修正</p> <p><u>成果指標では、全国学力・学習状況調査において、平成19年の調査開始以来、小・中学校ともに全ての実施教科で全国や大都市、埼玉県の平均正答率を上回る全国トップクラスの良好な結果を得ており、高い数値を示しています。これからの社会を見据え、本市ならではの特色を生かした魅力ある教育を推進するためには、ICT環境の整備や教職員の働き方改革といった教育環境整備や、市民意見での「教員の育成・研修」にある教職員のICT活用指導力の向上などの取組が必要であると考えられます。</u></p>	<p>御指摘の件については、全体のバランスの中においてすべてを反映させることは困難ですが、趣旨を踏まえて、改めて内容を検討し、その一部を計画に反映しました。</p>
7	180	●地域資源	<p>「見沼代用水西縁に広がる見沼田圃等の原風景」について、見沼田圃自体が広がっている風景であるため、「等」を削除した表現としたい。</p>	<p>御指摘のとおり修正しました。</p>

## 第8回総合振興計画推進本部会議における意見と対応

項番	頁	具体的な箇所	意見	対応（案）
8	—	重点ポイント	<p>「健康的で」に違和感を覚えます。          おそらくSDGsの用語（P.78、P.13）の影響が及んだものと思われませんが、ここでは日本国憲法、医療介護総合確保推進法等で使われている「健康で」がふさわしいと考えます。          その他、字句の整理が必要と思われる箇所が見受けられます。御検討願います。</p> <p>P.94 「心身ともに健康的で安心して…」⇒「心身ともに健康で安心して…」          P.14、P.79、P.94 「すべて」⇒「全て」          P.78 「以下、「2030アジェンダ」といいます。」⇒「以下「2030アジェンダ」といいます。」          P.67、P.205 「いきいき」⇒「生き生き」（あえて使い分けしているのであれば結構です。）          P.142、P.184、P.194、P.203、P.208「この他」⇒「このほか」 P.5、P.193「その他」⇒「そのほか」・・・「他」を「ほか」と読ませる場合。「た」と読ませる場合は、このままで結構です。          P.52～P.62 「○年度から●年度」⇒「○年度から●年度まで」          P.50 「市民1人あたり」⇒「市民1人当たり」          P.50、P.88、P98ほか 「一人当たり」⇒「1人当たり」          P.71 「「防災に関する世論調査」より」⇒「「防災に関する世論調査」から」</p>	御指摘のとおり修正しました。

## 第8回総合振興計画推進本部会議における意見と対応

項番	頁	具体的な箇所	意見	対応（案）
9	—	—	<p>① 高速自動車道の名称（開通後の正式名） 東京外かく環状道路の浦和IC⇒ 東京外環自動車道の外環浦和IC（P6下） ⇒ 道路名の記載順序（道路法的高速自動車国道一般国道、県道の順）</p> <p>② 道路名の記載順序（道路法的高速自動車国道、一般国道、県道の順） ⇒ 国道16号、国道17号、国道17号新大宮バイパス、東京外かく環状道路、首都高速道路、東北自動車道等⇒ 東北自動車道、東京外環自動車道、国道16号、国道17号、国道17号新大宮バイパス、国道17号上尾道路、国道298号、国道122号、国道463号、首都高速道路等（P65下）</p> <p>③ 文言の追加（内陸部でも直下型地震やゲリラ豪雨は想定できるため） ⇒ 大規模な自然災害の危険性⇒ 津波などの大規模な自然災害の危険性（P71下）</p> <p>④ 文章の修正 ⇒ 事故の発生地点、危険交差点及び⇒ 事故が発生した交差点などや（P130上）</p> <p>⑤ 文言の削除（前後の段落と合わせるため） ⇒ 生活道路の整備については⇒ 生活道路については（P149下）</p>	御指摘のとおり修正しました。



# さいたま市まち・ひと・しごと創生有識者会議の意見における意見と対応

資料3

項番	項目	意見	対応(案)
1	1. 目指すべき将来の方向	人口の維持はじめ、方向性については異議ありませんが、「将来にわたって活力ある都市の実現」という目指すべき将来の姿をもう少し具体的な表現を含められないかと感じました。おそらく、「活力ある都市」には元気なひとや元気な企業も含めれているのかと思います。一括りとせずにもう少し市民の皆さんに伝わりやすい表現もよいのかと。	御意見を踏まえて、以下のとおり修正しました。 【P24】 これに加え、生産年齢人口の減少や、急速な老年人口の増加に対応する施策、さらには、本市の強みを生かして「まち」の魅力を高めていく施策を組み合わせ、本市独自の地方創生として具体化し、「人口減少・超高齢時代に適応し、 <u>更なる成長・発展につなげ</u> 、将来にわたって活力ある都市」の実現を目指します。
2	1. 目指すべき将来の方向	推計人口データを根拠に「本市全体の人口を維持すること」という方向性をめざすことを総論として記す箇所だと思いますので異議ありません。無難な表現を敢えて行う箇所だとは判断します。	-
3	1. 目指すべき将来の方向	抽象的な記載となっており、一般市民からは分かりづらいため、表現の工夫が必要ではないか。	「目指すべき将来の方向」では抽象的に記載し、後述の「地方創生に関する本市の考え方」で具体的に記載する構成としております。
4	2. 地方創生に関する本市の考え方	さいたま市で生まれ育った人に定住化してもらうことが、総人口と適正な人口構造の維持につながる。また、このことは三世代同居の推進にもつながり、核家族化の進展を食い止め、少子化対策にもなる。	地方創生に関する本市の考え方の「住みやすさ」の向上による人口維持において、定住化を促進するために本市に誇りと愛着を持ってもらえる施策を推進していくことも重要だと認識しています。 それぞれのライフスタイルから核家族化を防ぐことは難しいため、祖父母世代による地域の子育て活動の促進などに取り組んでいきます。
5	2. 地方創生に関する本市の考え方	治安がよく、災害に強い、バリアフリー化が進んでいるなど、人に優しいまちということが大事だと考える。	御意見の観点は、総合戦略全体にかかると考えますので、計画策定全体の参考とさせていただきます。
6	2. 地方創生に関する本市の考え方	地域の特性によって、人口を増加させる施策にも違いがあると考えます。	総合振興計画における将来都市構造の基本的な考え方や、各区の特性と将来像に沿って、地域の特性に応じてまちづくりを進めていきます。
7	2. 地方創生に関する本市の考え方	資料に記載のある「多くの人が住みやすい、住み続けたいと感ずることができる」が大事だと考える。	御意見の観点は、総合戦略全体にかかると考えますので、計画策定全体の参考とさせていただきます。

項番	項目	意見	対応(案)
8	2. 地方創生に関する本市の考え方	P84に「東日本の交通結節点」という特質を打ち出しておられるので、P24(3) 目指すべき将来の方向で記した箇所が総論的、抽象的な表現でもよろしいと思いました。「東日本の・・・」はさいたま市の最大の魅力であるので、その地域で、P84の①の「子育て教育、災害に強い住みやすさ」が備わるとい生活しやすさという魅力を強調していることがわかりやすいです。	-
9	2. 地方創生に関する本市の考え方	基本的な方向性については異議ありませんが、①「住みやすさ」向上による人口維持：どうしても若年者中心の表現になりがちですが、超高齢社会を踏まえ、弱者(子供・高齢者等)として捉え、住みやすさももちろんですが、「人にやさしいまち」の向上とすることで、どのように住みやすいのかがより表現できるのではないかと。	御意見の観点については、地方創生に関する本市の考え方を踏まえた重点戦略の各戦術で取り入れております。
10	2. 地方創生に関する本市の考え方	②地域経済の活性化に関しては、生産年齢人口が対象となる地域産業の活性化のように読み取りました。が、「生産年齢」だけを考えずに、「生産活性化可能性人口」(高齢者、障がい者、女性をひとくくりに書いている表現はあまり適切とは思わず、造語します)への生産力の増大や広がりにつながる「再教育」「リスタート教育」の機会を市として積極的に採り入れて、本人の「健幸」を引き出すというような、前向きな考え方があればと期待します。	御意見の取組については、地方創生に関する本市の考え方を踏まえた重点戦略2戦術1において、「生涯現役」社会の実現に取り組んでいきます。
11	2. 地方創生に関する本市の考え方	基本的な方向性については異議ありませんが、②魅力を生かした地域経済の活性化：超高齢社会における生産年齢人口減少に向けて、リタイアしたOBができるだけ働き続けられる環境づくり「生涯現役社会」が必要と思います。これは健康寿命の延伸にも繋がり、QOL向上により「住みやすさ」の向上にも関連してくると思います。 また、資料に記載もありますが、地方創生に向け、「東日本連携センター」が代表的な取組ですが、今後は広域連携する上で関係人口の創出による活動も必要であると考えます。	御意見の取組については、地方創生に関する本市の考え方を踏まえた重点戦略2戦術1において、「生涯現役」社会の実現に取り組んでいきます。
12	2. 地方創生に関する本市の考え方	「②魅力を生かした地域経済の活性化」については、従業者だけでなく雇用者に向けた内容も含まれるため、そのことがわかるようにすべき。	総合戦略は市民だけではなく、事業者向けでもあることを前提としております。
13	2. 地方創生に関する本市の考え方	基本的な方向性については異議ありませんが、③新しい時代の流れへの対応：特に、医療・介護については、高齢者を中心とするすべての世代に共通する分野であり、AI・ロボット技術等の先端技術を活用した取組により、「人にやさしいまち」へと繋がります。	御意見を踏まえて、以下のとおり修正しました。 <b>【P86】</b> 様々な分野においてAI、IoT、ロボット、自動運転などSociety5.0の実現に向けた先進技術を取り入れることで、更なる高齢化や核家族化等による交通弱者の増加や、医療・介護サービスの担い手不足などの社会課題を解決し、 <u>人にやさしいまち</u> を目指していきます。

項番	項目	意見	対応(案)
14	3. 追加的な取組	女性の進学率の向上等を背景に、女性の初婚年齢や生涯未婚率が上昇し、少子化が進行している。結婚適齢期からではなく、若い年代を対象に男女の交流をする場を提供してはどうか。従来にはない取組をしないと、出生率の向上は難しいと考える。	少子化の進行については、参考資料6に記載のある女性の初婚年齢や生涯未婚率の上昇だけでなく、様々な社会経済要因等によるものです。また、男女の交流の場は、民間企業により多種多様な形態で展開されているため、行政ならではの取組として実施していく必要があります。
15	3. 追加的な取組	大学や大企業を誘致することで、訪れる人が増え、まちのにぎわいが創出される。	今後の事業検討にあたって参考とさせていただきます。
16	3. 追加的な取組	昨年の台風19号の際に、車中泊をしている人が多く、路上に駐車したまま車が放置されるなど、災害時の避難所は、学校だけでは足りないと考える。より安心して暮らせるまちにするため、避難所の拡充を図ったらどうか。	今後の事業検討にあたって参考とさせていただきます。
17	3. 追加的な取組 重点戦略1 戦術2	健康寿命の延伸によりいわゆる「健幸」を実感できるものと思います。「歩く」ということはもちろん欠かすことのできないテーマだと思いますが、少なからず人の役にたっているということが、生きがいや、さらなる心の豊かさを生み出すと思います。そのためには、やはり仕事を続けることが一番であり、ボランティア活動も含め可能な限りの働く場・活動の場が重要と思います。 また、KPIですが、健康寿命が延伸すると自然に医療費の削減に繋がります。将来的には、こうした指標も必要かと思えます。	重点戦略2 戦術1において、「生涯現役社会」の実現に取り組んでいきます。また、KPIについては、今後の参考とさせていただきます。
18	3. 追加的な取組 重点戦略1 戦術3	スポーツは、さいたま市の特徴であり、引き続き伸ばしていくべき。	御意見のとおり、重点戦略1 戦術3において、本市の豊富なスポーツ資源を生かした取組について記載しております。
19	3. 追加的な取組 重点戦略1 戦術3	重点戦略1 戦術3において、野球チームを誘致できれば、まちの活性化につながると考える。	今後の事業検討にあたって参考とさせていただきます。

項番	項目	意見	対応(案)
20	3. 追加的な取組 重点戦略1 戦術4	重点戦略1 戦術4において、デジタル授業を導入し、子供の能力に応じた教育を実施していくとよい。	御意見を踏まえて、以下のとおり修正しました。  【P91】 また、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けたアクティブ・ラーニングの推進やICTを活用した学習活動の充実などを通して、他者と協働しながら新たな価値を創造していく力や、夢を実現しようとする高い志を持って可能性に挑戦する力の育成に取り組むなど、本市ならではの特色を生かした魅力ある教育都市を目指します。  ◆未来を拓くさいたま教育で子どもの力を伸ばす ・新たな価値を創造する力の育成 ・グローバル社会で主体的に行動する力の育成 ・ICTを活用した学びの改革
21	3. 追加的な取組 重点戦略1 戦術4	次代を担う社会の担い手の育成に向け、できるだけ若年者からの職業教育の実践が必要と思います。小学生低学年からの会社社長の職業感の説明会や職場体験、インターンシップなど、これまで以上にきめ細かいメニューが必要と思います。これは、グローバル人材の育成にも同様のことが言えます。	重点戦略1 戦術4において、職業教育の実践に取り組んでく考えですが、御意見のような取組については、実施計画事業を検討する上での参考とさせていただきます。
22	3. 追加的な取組 重点戦略1 戦術5	地下鉄7号線を延伸することで、新駅の周辺で新たなまちづくりが始まり、市街化調整区域が市街化区域に編入され、人口減少対策となるのではないかと。	重点戦略1 戦術5において、広域的な鉄道網の強化を図っていきます。御意見のような取組については、実施計画事業を検討する上での参考とさせていただきます。
23	3. 追加的な取組 重点戦略1 戦術5	各戦術において、実効性があるかどうかを重要と考える。例えば、「見沼たんぼ」に魅力を感じても、実際に足を運ぶかどうか。トイレ設置などのインフラ整備が必要と考える。また、これに関連する「日本一の桜回廊」も、単独ではなく、他と連携し生かすことができれば、市の魅力をパワーアップできるのではないかと。	重点戦略1 戦術5において、観光の振興に取り組んでいきます。御意見のような取組については、実施計画事業を検討する上での参考とさせていただきます。
24	3. 追加的な取組 重点戦略1 戦術5	鉄道博物館、盆栽、漫画博物館、人形博物館はインバウンド等も意識するとよい資源であり、有機的に結び、川越などとも連携していくとよいのでは。	重点戦略1 戦術5において、観光の振興に取り組んでいきます。御意見のような取組については、実施計画事業を検討する上での参考とさせていただきます。
25	3. 追加的な取組 重点戦略1 戦術5	防災の視点でいくと、地勢的にも災害に強いと考えられる。	重点戦略1 戦術5において、地勢的に災害に強いことを生かして広域防災拠点機能の強化を図っていきます。

項番	項目	意見	対応(案)
26	3. 追加的な取組 重点戦略1 戦術5	重点戦略1 戦術5「目指す方向性」記載のTEC-FORCEの進出拠点の位置づけの出典元をご教示願います。 (首都直下地震におけるTEC-FORCE活動計画等には「さいたま新都心」付近が位置づけがなかったため)	首都圏広域地方計画(P.85)を出典としておりますが、誤解のないよう、各種計画と記載の整合を図っていきます。
27	3. 追加的な取組 重点戦略1 戦術5	強い産業力の創出では、既存企業の持続的な発展への支援も必要かと思えます。	御意見の取組については、重点戦略2 戦術2において取り組んでいきます。
28	3. 追加的な取組 重点戦略2 戦術1	人口を定着化させる方向性について、高齢化を避けられないとすれば、どのような高齢化社会を市として目指すかを記す積極性があるてもよろしいのではないのでしょうか。高齢者の労働をより積極的に評価し、生きがいのための受動的、消費的学習にとどまらず、社会につながり、経済を支える高齢者像、障害者像が見えることが大事だと、福祉の立場からは考えます。	御意見を踏まえて、以下のとおり修正しました。 <b>【P95】</b> また、AIなどの技術革新の進展による労働市場の変化を捉え、女性、高齢者、 <b>障害者等が、より一層活躍できる就労支援</b> の充実や、誰もが働きやすい就労環境の整備を進め、地域産業を中心に躍動するまちを目指します。
29	3. 追加的な取組 重点戦略2 戦術1	待機児童の課題等もあるが、人口を維持していくためには、やはり出生率を向上させることが大切であり、若い世代が住みやすいまち、子育てしながら働いていけるまちづくりを進めることが重要な観点である。	重点戦略2 戦術1や戦術2において、安心して子どもを産み育てることができる環境を整備するなど、子育てしながら働くことができるまちづくりを進めていきます。
30	3. 追加的な取組 重点戦略2 戦術1	介護人材の担い手不足については、地域の元気な65歳～70歳の高齢者を活用してはどうか。	重点戦略2 戦術1において、元気な65歳以上の高齢者の雇用環境を整備していきます。
31	3. 追加的な取組 重点戦略2 戦術1	元気な65歳以上の高齢者のための雇用環境を整備してはどうか。	重点戦略2 戦術1において、元気な65歳以上の高齢者の雇用環境を整備していきます。
32	3. 追加的な取組 重点戦略2 戦術1	重点戦略2の戦術1は子育てから高齢化への対応まで、他の戦術と比較し、幅広い内容となっている印象。	本格的な人口減少・超高齢時代の到来への対応としておりますが、重点戦略2 戦術1における目指す方向性や重点ポイントは、子育て支援、高齢者支援を主としており、他の戦術とは重複しない限定的な記載としております。
33	3. 追加的な取組 重点戦略2 戦術1	「・・あらゆる世代が、輝き・住み続けたいまちづくり」とすることで、人口減少の課題の解決としての表現として、よりマッチするよう感じます。	「住み続けたいまちづくり」は、総合戦略全体にかかる考えとなっております。

項番	項目	意見	対応(案)
34	3. 追加的な取組 重点戦略2戦術2	労働力人口の増加を目指して、福祉と雇用の支援の連携を強化し、就職氷河期世代の雇用対策、8050問題への対応に取り組んでいくべきではないか。	重点戦略2戦術2において、多様なニーズに応じた就労支援に取り組み、労働力人口の増加を目指していきます。御意見のような問題に対しては、福祉と雇用の連携を強化していくことが重要だと認識しており、具体的な取組については、実施計画事業を検討する上での参考とさせていただきます。
35	3. 追加的な取組 重点戦略2戦術2	技術力はAI等に代替されないため、情報化社会が進展すると、中小企業は技術力が重要となる。その上で、中小企業の人材を確保する施策として教育と連携し、地域の小学生に地域の工業高校を見学させるなどして、小学生にもものづくりの魅力を伝え、地域の中小企業の人材を確保としてはどうか。	重点戦略2戦術2において、多様な地域人材の確保・育成にむけた支援を推進していきます。御意見のような取組については、実施計画事業を検討する上での参考とさせていただきます。
36	3. 追加的な取組 重点戦略2戦術2	女性の活躍に関する記載が充実しているとよい。そのためには生涯働ける教育や支援の充実が必要なのではないか。	重点戦略2戦術2において、女性のニーズに応じた就労支援の充実に取り組みとともに、重点戦略2戦術5において、人権教育の推進を図っていきます。
37	3. 追加的な取組 重点戦略2戦術2	定年退職年齢の選択制を取り入れている企業も出てきたが、高齢者も働きやすい環境づくりが大切。	重点戦略2戦術2において、高齢者のニーズに応じた就労支援の充実に取り組んでいきます。
38	3. 追加的な取組 重点戦略2戦術2	新型コロナウイルス感染症の状況もありテレワークなど働き方が多様化してい中、行政として、例えば公共施設をテレワークの拠点にする方法などがあるか。金融機関としては市内の中小企業への啓もうやサポートなどができるか。	御指摘の点については、重点戦略2戦術2において、誰もが働きやすい就労環境の整備を進めていく考えですが、具体的な事業手法については今後検討していきます。
39	3. 追加的な取組 重点戦略2戦術2	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえると、例えばさいたま市にテレワークの拠点を作り、都心のテレワークの拠点とちがうメリットなどを売りにしていく方法があるか。	御指摘の点については、重点戦略2戦術2において、誰もが働きやすい就労環境の整備を進めていく考えですが、具体的な事業手法については今後検討していきます。
40	3. 追加的な取組 重点戦略2戦術3	BCP対策として、これまで想定されていなかった感染症対策も明記しておく必要があると思います。また、防犯活動については、市民をはじめ事業者を含めた地域一体の取組みが不可欠かと思えます。	感染症対策については、新型コロナウイルス感染症の現状を踏まえるとともに、今後の動向により計画の改定などを適宜行っていきます。 また、重点戦略2戦術3において、地域一体となって防犯活動に取り組んでいきます。
41	3. 追加的な取組 重点戦略2戦術4	公共交通において、東京方面だけではなく市内間の移動が便利になると、人口減少対策につながるのではないか。	重点戦略2戦術4において、環境に配慮した移動を促進することで、市内間移動の利便性向上に取り組んでいきます。

項番	項目	意見	対応(案)
42	3. 追加的な取組 重点戦略2戦術5	住みたいまちランキングで大宮、浦和が上位に入っており、大変喜ばしい。さらなるバランスの取れたまちづくりに向けて、地域コミュニティづくりや人間関係づくりに力を入れてほしい。	重点戦略2戦術5において、多世代の交流や自主的活動の促進を図っていきます。
43	3. 追加的な取組 重点戦略2戦術5	一般に、駅周辺には集合住宅が建ちやすい。だが、居住者は自治会未加入の傾向にある。民生委員の選出ができないことから、災害時や居住者高齢化の際の不安がある。よって、タワーマンションには自治会を作らせるなど、自治会加入促進を図ってほしい。	タワーマンションに限ったことではありませんが、重点戦略2戦術5において、多世代の交流や自主的活動の促進を図っていきます。
44	3. 追加的な取組 重点戦略2戦術5	コミュニティづくりも大切。美園では、まちづくりに向けたワークショップなども実施されていたが、取組を通してコミュニティの形成やビジネスの創出にもつながる。	重点戦略2戦術5において、多彩なコミュニティづくりに取り組んでいきます。
45	4. その他	事業承継については、中小企業における重要な課題であり、民間企業である金融機関からの働きかけだけでは弱い部分もあるので、行政からの啓発などがあるとなおよい。	重点戦略2戦術2において、さいたま商工会議所とも連携を図りながら、事業承継の支援に取り組んでいきます。
46	4. その他	さいたま市の都市インフラについては、道路混雑がひどいことなどがボトルネックになっており、観光資源などがあってもそこまで達するのに時間を要したり、歩道も狭く歩行環境がよくないことなども問題。	重点戦略1戦術5、重点戦略2戦術3において、道路網の強化や良好な歩行環境の整備に取り組んでいきます。
47	4. その他	法人市民税は増加しているのか。また、法人市民税法人税割額の納付義務を負う企業数が増えていることに対して、事業所数が減少していることの分析がほしい。	御意見を踏まえて分析し、今後の取組につなげていきます。
48	4. その他	人の集まるスポットとしては「大宮公園」も挙げられ、これを生かし切れていない。やはり県単独での魅力アップは難しいと考える。県の管理下にある公園のため難しいとは思いますが、可能であれば本市に参与してほしい。	今後の事業検討にあたって参考とさせていただきます。
49	4. その他	将来の人口減はどうしても避けられない。新型コロナウイルス感染症をひとつの問題提起と捉え、魅力あるまちづくりに向け、計画に生かしていければよいと考える。	新型コロナウイルス感染症の現状を踏まえるとともに、今後の動向により、計画の改定などを適宜行っていきます。
50	4. その他	多数の戦術があるため、どこからどのように進めていくのか分かってよい。	各戦術間で優先順位をつける考えではなく、重点戦略の考えに合致する事業を重点化していきます。

項番	項目	意見	対応(案)
51	4. その他	新型コロナウイルス感染の状況も踏まえ、事業者とすると、有事における行政のバックアップのスピード感は重要であり、行政と金融機関がうまく連携できればよい。	御指摘のとおりであると考えており、現在も事業者への支援等にあって金融機関と連携しており、今後も取組を進めていきます。
52	4. その他	重点戦略は総花的であるため、人口の自然増と社会増の両方に貢献するものを最優先で取り組むなどし、費用対効果を上げるとともに、対外的にも取組をわかりやすくアピールしていくべき。	重点戦略は将来も持続可能な都市として成長・発展し続けるため、「魅力」を最大限に活用し、直面する「課題」に迅速に対応していく考えです。各戦術間で優先順位をつけることはせず、重点戦略の考えに合致する事業を重点化していきます。
53	4. その他	あえて市独自の取組をするのではなく、国内外の良いものを取り入れていくことも必要。	今後の事業検討にあたって参考とさせていただきます。
54	4. その他	人手や税金の投入が大きいマラソン大会などは、費用対効果の効検証をしっかりとすべき。	戦略を推進する上での「評価・検証」の参考とさせていただきます。
55	4. その他	各戦術の記載内容はもっともであるが、今後、具体的な事業を紐づけて、KPIの目標値を設定する中で、いつまでに何をやるのか、明確にしていくべき。	戦略を推進する上での「評価・検証」の参考とさせていただきます。
56	4. その他	市町村合併により誕生した市ではあるが、地域の垣根を越えて、さいたま市全体として施策を打っていかないと、総合戦略の効果は十分に発揮されない。	今後の施策推進にあたって参考とさせていただきます。
57	4. その他	新型コロナウイルス感染症により、激変するだろう社会への展望をどのように立てるか、全く触れないのかどうか、ご検討になっていただければと思います。	新型コロナウイルス感染症の現状を踏まえるとともに、今後の動向により計画の改定などを適宜行っていきます。
58	4. その他	新型コロナウイルス感染症を踏まえた新しい生活に対応する記載はしないのでしょうか。	新型コロナウイルス感染症の現状を踏まえるとともに、今後の動向により計画の改定などを適宜行っていきます。
59	4. その他	KPIについてですが、「・・・を感じている市民の割合」という項目が多く見受けられますが、人の感性は千差万別。あまりこの項目が多すぎると成果指標としての精度、納得感が薄くなってしまいうように感じます。	市民に対する満足度調査は、施策に対する市民の反応をダイレクトに測ることができる点がメリットである一方、御意見のようなデメリットもございます。定量的な指標などと適切に組み合わせたりすることで、施策の成果を測ることは可能であると考えております。